

2024年2月15日

各 位

会 社 名 ヨシコン株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉田 尚洋
(コード: 5280 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員経営管理部長 鶴飼 誠司
電話番号 054-205-6363

(訂正・数値データ訂正)「2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について

当社は、2024年1月31日に公表しました「2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」につきまして、訂正がありましたのでお知らせします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正の内容

2024年1月31日公表後に、記載内容の一部に訂正すべき事項があることが判明いたしましたので、訂正を行うものであります。

訂正箇所には下線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

2. 訂正の理由

貸貸・管理等事業セグメントにかかる連結会社間取引高と債権債務の相殺消去に一部漏れがあったこと等によるものです。

3. 業績に与える影響

本取引の訂正によって業績に与える影響は軽微であることから、業績予想の修正はいたしません。

以 上



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月31日

上場会社名 ヨシコン株式会社 上場取引所 東
コード番号 5280 URL <https://www.yoshicon.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田尚洋
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 鶴飼誠司 (TEL) 054-205-6363
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	8,649	△8.6	317	△50.5	477	△40.8	290	△43.6
2023年3月期第3四半期	9,461	△23.8	641	△64.3	806	△59.4	514	△60.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 412百万円(△31.7%) 2023年3月期第3四半期 603百万円(△59.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第3四半期	円 銭 40.91	円 銭 —
2023年3月期第3四半期	71.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第3四半期	百万円 45,016	百万円 23,555	% 51.9
2023年3月期	35,870	23,498	65.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 23,367百万円 2023年3月期 23,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 50.00
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期(予想)				51.00	51.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	70.0	2,400	69.6	2,500	45.8	1,550	32.9	218.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	8,030,248株	2023年3月期	8,030,248株
2024年3月期3Q	926,393株	2023年3月期	926,393株
2024年3月期3Q	7,103,855株	2023年3月期3Q	7,168,865株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行もあり、経済活動の正常化を受けて景気回復の動きが見られましたが、原材料やエネルギー価格をはじめとした諸物価の上昇などもあり、先行きが不透明な状況で推移いたしました。また海外経済におきましては、中国経済の先行き懸念など海外景気の下振れや、長期化するウクライナ情勢と中東情勢の不安定化に伴い、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

このような環境下にあつて当社グループの不動産事業分野では、新規分譲マンションの販売及び企業誘致や宅地造成などの積極的な提案営業を継続してまいりました。また、不動産証券化事業への取組み強化として、上場不動産投資法人に向けての収益不動産の開発・獲得・供給を積極的に行つてまいりました。

建設土木業界に属するマテリアル事業分野では、工場設備を有しないファブレスの考えを基礎とし、製品企画などを強みとする営業活動を実施してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は86億49百万円（前年同四半期比8.6%減）、営業利益は3億17百万円（前年同四半期比50.5%減）、経常利益は4億77百万円（前年同四半期比40.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億90百万円（前年同四半期比43.6%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①レジデンス事業

レジデンス事業におきましては、新規分譲マンションの引渡しが無く、減収減益となりました。この結果、売上高は42百万円（前年同四半期比98.9%減）、セグメント損失（営業損失）は1億13百万円（前年同四半期は7億71百万円のセグメント利益）となりました。

②不動産開発事業

不動産開発事業におきましては、不動産投資法人への商業施設の引渡しや、分譲マンション用地の引渡しが発現し、増収増益となりました。この結果、売上高は46億42百万円（前年同四半期比224.3%増）、セグメント利益（営業利益）は5億16百万円（前年同四半期比252.8%増）となりました。

③賃貸・管理等事業

賃貸・管理等事業におきましては、請負工事売上が増加したことなどにより、増収増益となりました。この結果、売上高は32億44百万円（前年同四半期比38.6%増）、セグメント利益（営業利益）は2億88百万円（前年同四半期比69.1%増）となりました。

④マテリアル事業

マテリアル事業におきましては、利益幅の大きい商品への販売シフトもあり、減収増益となりました。この結果、売上高は6億73百万円（前年同四半期比20.0%減）、セグメント利益（営業利益）は54百万円（前年同四半期比-％）となりました。

⑤その他

その他事業におきましては、保険代理店収入の増加により、増収増益となりました。この結果、売上高は45百万円（前年同四半期比22.9%増）、セグメント利益（営業利益）は33百万円（前年同四半期比22.1%増）となりました。

なお、前連結会計年度末において飲料製造事業会社の全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。これに伴い、第1四半期連結累計期間より飲料製造事業（前年同四半期売上高は10億71百万円、セグメント損失（営業損失）は29百万円）を報告セグメントから除外しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は450億16百万円（前連結会計年度比25.5%増）となりました。

流動資産は、現金及び預金などが減少したものの、販売用不動産などが増加したことにより、396億12百万円（前連結会計年度比31.6%増）となりました。固定資産は、投資その他の資産のその他に含まれる差入保証金などが増加したものの、投資有価証券などが減少したことにより、54億4百万円（前連結会計年度比6.4%減）となりました。

(負債)

流動負債は、支払手形及び買掛金などが減少したものの、短期借入金が増加したことにより、187億65百万円（前連結会計年度比96.2%増）となりました。固定負債は、その他に含まれる敷金預り金が増加したものの、長期借入金が増加したことにより、26億95百万円（前連結会計年度比4.1%減）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は235億55百万円（前連結会計年度比0.2%増）となりました。

(自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は51.9%（前連結会計年度比13.1ポイント減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、レジデンス事業及び不動産開発事業の契約状況などを総合的に勘案し、2023年4月28日公表の業績予想を据え置くことといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,356,806	1,694,071
受取手形、売掛金及び契約資産	1,251,079	1,237,309
商品及び製品	13,351	8,283
販売用不動産	25,618,891	36,075,495
未成工事支出金	262	31,084
その他	860,812	569,504
貸倒引当金	△5,467	△3,151
流動資産合計	30,095,737	39,612,598
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	321,248	306,614
土地	1,435,739	1,444,881
その他（純額）	50,001	58,666
有形固定資産合計	1,806,989	1,810,162
無形固定資産	34,280	36,248
投資その他の資産		
投資有価証券	3,565,743	3,059,458
繰延税金資産	41,392	41,298
その他	397,827	531,263
貸倒引当金	△71,211	△74,247
投資その他の資産合計	3,933,751	3,557,772
固定資産合計	5,775,021	5,404,183
資産合計	35,870,758	45,016,781
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,352,208	741,577
短期借入金	5,510,000	15,893,900
1年内返済予定の長期借入金	419,224	281,538
未払法人税等	131,942	23,104
賞与引当金	42,505	18,034
その他	2,106,459	1,807,628
流動負債合計	9,562,339	18,765,784
固定負債		
長期借入金	2,188,847	1,889,515
その他	621,242	805,881
固定負債合計	2,810,089	2,695,397
負債合計	12,372,429	21,461,181

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,587,284	3,587,284
利益剰余金	20,148,579	20,083,973
自己株式	△794,926	△794,926
株主資本合計	23,040,937	22,976,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	281,598	391,479
その他の包括利益累計額合計	281,598	391,479
非支配株主持分	175,793	187,790
純資産合計	23,498,329	23,555,600
負債純資産合計	35,870,758	45,016,781

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	9,461,142	8,649,432
売上原価	7,587,815	7,013,112
売上総利益	1,873,327	1,636,320
販売費及び一般管理費	1,231,932	1,319,046
営業利益	641,395	317,273
営業外収益		
受取利息	96	154
受取配当金	69,264	83,384
仕入割引	5,825	17,320
投資有価証券売却益	—	110,691
匿名組合投資利益	85,706	—
受取手数料	2,311	1,613
助成金収入	14,877	—
補助金収入	6,367	1,954
その他	27,568	4,752
営業外収益合計	212,016	219,872
営業外費用		
支払利息	28,030	50,651
休止固定資産減価償却費	16,866	1,082
その他	1,748	8,033
営業外費用合計	46,644	59,767
経常利益	806,766	477,378
特別利益		
固定資産売却益	5,786	541
特別利益合計	5,786	541
特別損失		
固定資産除却損	3,118	3,644
特別損失合計	3,118	3,644
税金等調整前四半期純利益	809,434	474,275
法人税、住民税及び事業税	92,780	167,869
法人税等調整額	194,382	3,822
法人税等合計	287,162	171,692
四半期純利益	522,272	302,582
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,413	11,996
親会社株主に帰属する四半期純利益	514,858	290,586

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	522,272	302,582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81,434	109,881
その他の包括利益合計	81,434	109,881
四半期包括利益	603,707	412,464
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	596,293	400,467
非支配株主に係る四半期包括利益	7,413	11,996

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	レジデンス 事業	不動産開発 事業	賃貸・管理等 事業	マテリアル 事業	飲料製造 事業	計		
売上高								
外部顧客 への売上 高	3,738,148	1,431,497	2,340,446	842,111	1,071,825	9,424,029	37,112	9,461,142
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	—	—	289,885	643,794	2,132	935,812	3,221	939,033
計	3,738,148	1,431,497	2,630,331	1,485,906	1,073,958	10,359,842	40,333	10,400,176
セグメント 利益又は損 失(△)	771,821	146,333	170,434	4,956	△29,647	1,063,899	27,228	1,091,127

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、衣料品事業及び保険代理店事業などを
含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,063,899
「その他」の区分の利益	27,228
セグメント間取引消去	△69,572
全社費用(注)	△380,159
四半期連結損益計算書の営業利益	641,395

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

従来「その他」に含まれていた「飲料製造事業」について量的な重要性が増したため、前第3四半期連結累計期間より、報告セグメントとして記載を変更していることに伴い、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	レジデンス 事業	不動産開発 事業	賃貸・管理等 事業	マテリアル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	42,859	4,642,434	3,244,550	673,970	8,603,815	45,617	8,649,432
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	428,208	973,109	1,401,317	3,091	1,404,408
計	42,859	4,642,434	3,672,758	1,647,080	10,005,133	48,708	10,053,841
セグメント利益又は損失(△)	△113,330	516,198	288,287	54,806	745,961	33,235	779,196

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、衣料品事業及び保険代理店事業などを含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	745,961
「その他」の区分の利益	33,235
セグメント間取引消去	△60,080
全社費用(注)	△401,842
四半期連結損益計算書の営業利益	317,273

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度末において飲料製造事業会社の全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。これに伴い、当第1四半期連結累計期間より飲料製造事業を報告セグメントから除外しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。